

市民の声に、まっすぐに。

前回の市長選から4年間、
医療福祉の現場で働き、
2児の父として子育てに向き合い、
地域の皆様とじっくり交流できました。

今こそ、市民の声なき声も届く、
もっと身近な市政に変えたい。
一人一人をもっと幸せにできる政治を
実現したい。

今度こそ一緒に、未来を変えましょう。

ひたちなか市長候補 大谷明

継承すべきところは継承し、
市民の声を大切にした新しいまちづくりに挑みます。

生涯いきいき安心の街

- ・看護学校の誘致
- ・運転免許返納後の外出ニーズ対応
- ・在宅医療の推進
- ・認知症対策の強化
- ・リハビリ&寝たきり予防をサポート
- ・空き家を地域の共生拠点へ
- ・高齢者住み替え支援制度推進
- ・職に繋がるコミュニティカレッジ開校

子育て世代に選ばれる街

- ・さらに利用しやすい学校学童へ
(時間延長・おやつ/長期休暇中の昼食提供)
- ・学童終了後のお預かり体制整備
- ・屋内型すくすく広場の新設
- ・自然の中で遊べるプレーパークの新設
- ・生きる力を育む幼児教育の推進
- ・障がいに関係なく共に学べる教育の検討
- ・スポーツ施設の利便性向上

これからも発展する街

- ・区画整理の早期完了
- ・雨水対策等の生活基盤整備
- ・農業の新たな挑戦を応援
- ・地元の農水産品のPR
- ・ほしいものの販売支援
- ・自慢できる新図書館新設
- ・音楽(ライブ)ホール誘致
- ・市民マーケティング課設置

他の政策を知りたい方は [大谷明](#)

経歴

1973年、教師の父(旧那珂湊出身/勝田一中・那珂湊三小・堀口小・高野小等で勤務)と看護師の母(盛岡市出身)のもとに生まれる。長堀小・勝田一中・茨城高・中央大卒。13年間広告会社(営業)に勤務した後、松下政経塾入塾。2011年茨城県議会議員(無所属)。妻と娘(小1)・息子(1歳)の4人家族。

地元出身
45歳



無所属

大谷明

45歳



この経験を 活かします。 新たな価値を創出する 「ひたちなか新時代」への挑戦！

行政の経験を活かし、即戦力として
国・県・市との連携のもと ひたちなか市の
可能性を開花させます。

久須美 忍(くすみのぶ) プロフィール

- 生年月日…昭和39年5月18日(54歳)、ひたちなか市足崎在住
- 家庭…妻、子2人、義父母
- 最終学歴…茨城大学 人文学部卒業
- 主な職歴…【昭和63年】茨城県庁 入庁
・つくばエクスプレス整備
・県の重要施策の企画
・ドクターヘリ導入(県内初運行)
■公職歴…【平成25年】笠間市副市長、【平成30年】退任
- ・茨城空港開港準備
・ひたちなか総合病院整備(新築)
・ひたちなか市立病院整備(新築)

7つの
政策

- ① 子育て支援と教育の充実
 - 学童保育の対象年齢を小学6年生まで拡充
 - 小中学校へのエアコン設置
 - 英語教育やプログラミング教育の推進
- ② 持続可能な保健・医療・福祉システムの構築
 - 妊娠出産に係る保健から在宅医療にいたる一連の医療体制の整備
 - 医療と介護の連携体制の構築
 - 乗合いタクシーの導入
- ③ 世界に誇れる「国際港湾公園都市」の実現
 - 常陸那珂港の整備推進、クルーズ船誘致
 - 最先端の医療施設やIoT、AI、ロボット関連企業の誘致
- ④ 滞在型・周遊観光の推進
 - 外国人観光客の受け入れ強化
 - 海洋レクリエーション拠点の形成
 - ひたちなか海浜鉄道の延伸
- ⑤ 「儲かる農水産業」の確立
 - 干しいもなど特産品のブランド化
 - 道の駅の整備
- ⑥ 道路交通網の整備
 - 生活道路や地域高規格道路の整備
- ⑦ 安全安心で快適な質の高い生活や多様な産業が育つまちづくり
 - 安全性や市民の安全安心の観点を踏まえた東海第二原発への対応
 - 中小企業支援、ベンチャー企業育成



無所属
54歳

くすみ忍
しのぶ

ひたちなか市長選挙

投票日 **11月18日(日)** 午前7時から
午後8時まで

わがまちに 思いをこめる この一票

ひたちなか市選挙管理委員会

11月18日(日)は ひたちなか市長選挙 の投票日です。



投票日の当日、仕事や旅行などで投票に行けない方は、期日前投票を
しましょう。期日前投票は、11月17日(土)まで毎日、朝8時30分から
夜8時まで、市役所、那珂湊支所または佐野コミュニティセンターで
することができます。

ひたちなか市選挙管理委員会